

事業所名

放課後等デイサービス まかまか

支援プログラム

作成日

7年

3月

20日

法人（事業所）理念		地域に愛され、必要とされる事業所を目指し、将来を見据え、自立に向けた療育に心がけ、心から笑える日々を一緒に過ごしていく					
支援方針		子どもたちの発達段階に合わせて個別、グループ、集団で様々な活動を行い経験を重ねるとともに、仲間と安心して過ごせる『居場所』を作ることで成長段階における不安を解消し、『乗り越える力』をつけられるよう支援していきます。					
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり
		支援内容					
本人支援	健康・生活	来所時には毎回健康観察を行うことで自分自身の健康状態にも目を向け、具合が悪い時には自らSOSを出せる力をつけていきます。来所してから活動までの流れを示し、それに沿って動くように支援することで、社会生活において必要な基本的な生活スキルを身に付けていきます。また、成長段階に合わせて放課後等デイサービスでの生活以外にも目を向け、スケジュール帳や生活カード等を使用することで、自宅・学校・その他において総合的に『自立』できる力と意識を育てることを目指します。					
	運動・感覚	各児童の発達段階に合わせた遊びや運動を行うことで基本的技能の向上を目指します。また、運動以外にも自然とのふれあい、制作活動や調理等、様々なものに触れる機会を持つことで、感覚鈍麻や感覚過敏などの特性に対する感覚統合の発達に繋がっていきます。					
	認知・行動	個々の特性や課題に合わせた支援として、絵カード等でのトレーニングを行います。また、学年や発達段階に合わせてSSTを行うことで、社会生活の中で自分も相手も『困らない』行動を身に付けられるよう支援していきます。癇癪や自傷、過度ないたずら等の課題については、まずはその原因を探り、原因に合わせたアプローチやトレーニングをすることで緩和と解消を目指します。					
	言語 コミュニケーション	低学年の児童については、活動の中で上下左右、色、形等、基本的な知識が身についているか確認を行い、日常の中で様々な言葉を理解できるよう会話を大切に、必要に応じて絵カード等を使用して語彙力の向上に努めます。学年や個々の成長に合わせてSSTを行うことで、様々な場面に応じたコミュニケーションができるようになることを目指します。なかなかうまく気持ちを伝えられない児童については選択肢を示して気持ちを汲み取り、少しずつ自分の言葉で伝えることができるようになるよう支援していきます。					
	人間関係 社会性	まかまかが安心して過ごせる『居場所』になるよう努め、進級、進学等での環境の変化があっても共に乗り越えられるよう支援していきます。グループ活動では、同学年または異学年児童との関わりから児童同士でも学び合えるような環境を作っていきます。体育館活動や季節の行事等の集団活動では、ルールを守る重要性、役割を担いやり遂げることで達成感、仲間と一緒に過ごす楽しさ等を感じ、社会性を育てられるよう支援します。また、自分に出来ることと出来ないことを知ることで自己理解を深めることを目指します。					
家族支援		学校や自宅での様子など情報を共有しながら、家族の困りごとや不安なことがあった際にはいつでも相談できるよう努めていきます。			移行支援		本人が暮らす地域に居場所ができるよう能力に応じて学童等への移行の提案、支援を行います。自分達が暮らす地域を知るために積極的に公共施設を使用し、自分たちを『知ってもらおう』機会も作ります。
地域支援・地域連携		自立支援協議会や各関係機関とのケース検討会等に積極的に参加し、各児童が生活している環境を整えられるよう連携を図っていきます。			職員の質の向上		採用時研修（採用時2か月以内）・職員研修（オンライン含む）外部研修など（随時）
主な行事等		各季節イベント（ハロウィン、クリスマス、大掃除、進級お祝い会など）・保護者を招いての姉妹事業所との合同イベント（年1回）・主に学校長期休業時の外出活動（映画館、工場見学、科学館など公共施設へのおでかけ）・外食活動（地域の飲食店や他事業所運営のカフェなどの利用）					